

謹啓

この度は、名取市震災遺児孤児奨学金支給基金へご寄附をいただき心から感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、本市の沿岸部に壊滅的な被害を与え、922 名の市民の方が亡くなり、関連死の方も 36 名と、多くの尊い命が失われました。

沿岸部のまちである閑上地区や下増田地区に居住していた小学生及び中学生は、家を失い、現在もほとんどが仮設住宅や市内外の民間賃貸住宅等に居住しております。

ゆりあげ

閑上小学校と閑上中学校については、校舎が壊滅的な被害を受け使用できないことから、内陸部にある不二が丘小学校を利用して平成 23 年 4 月 21 日から授業を再開しておりますが、閑上中学校については、新たに仮設校舎を設け、平成 24 年 8 月から再スタートを切ったところであります。

この東日本大震災により保護者を亡くし遺児や孤児となった子どもが約 80 名程おりますことから、この子どもたちの学業を支援すると共にまちの復興の一助になればとの思いで、平成 23 年度に給付型の奨学金制度を立ち上げました。小学生から高校生を対象に月額金の支給を開始し、平成 24 年度からは対象者を大学生まで拡大し、月額金の拡充及び一時金を支給するまでとなりました。

この奨学金の原資は皆様からお寄せいただいた寄附金でございます。名取市震災遺児孤児奨学金支給基金として積み立てをさせていただき、大切にに使わせていただいております。奨学金支給対象者に対してまだ全額支給できるまでの基金額には達しておりませんが、上記の内容で息の長い支援を続けてまいりたいと考えております。

今後とも貴方様の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、まずは書面をもってお礼の挨拶とさせていただきます。

謹白

平成 25 年 5 月 吉日

日本和装ホールディングス株式会社 御中

名取市長 佐々木^{いそ}一十郎

